

どこよりも「室名札」に誇りを持ち どこよりも「最短」でお届けし
どこよりも「楽しく」笑顔で仕事をするそれが株式会社 フジタです。

フジタがご提案した納入事例やサインの様々な事を情報誌を通して、ご紹介致します。

納入
実績

医療法人康人会 西の京病院

屋内サインを製作しました。



今回ご紹介させて頂くのは、奈良県奈良市の医療法人康人会西の京病院です。患者様を中心とする、医療一療養一介護一福祉システムを充実し、一人ひとりの患者様を一生かけて見守ることのできる医療環境づくりを実践されておられます。今回改修工事にて設計段階から計画に携わらせて頂き、弊社の木製プランとアクリルプランをご提案いたしました。



新しいフロアには、ナチュラルですっきりとしたイメージのアイボリー色のプレートに自然な雰囲気を感じられる無垢材を使用したタモ材木枠フレームのTWプレートや、室名変更を容易にできる脱着が可能なGFプレートをご提案させて頂きました。

その他にも在空表示等の機能付きのTWM200も合わせてご提案いたしました。又、既存フロアには別注のボーズ面のダークブラウン色木枠フレームや、アクリル製天吊りサイン等も製作させて頂きました。

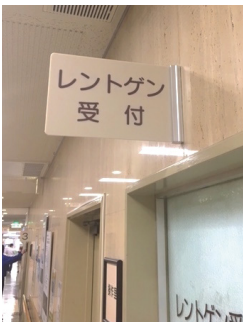


今回製作させて頂きましたのは、室名サインや天吊り誘導サインです。病院を訪れるさまざまな利用者の視点に立ち、スムーズな移動が出来るように機能的なサイン計画をご提案することが必要とされます。

初めての病院を訪れるときには、どこへ行けば良いのかわかりづらくストレスを感じてしまう利用者は少なくありません。そのような不安要素を少しでも取り除き、目的地へスムーズに導く道しるべとしてサインを計画する必要があります。分かりやすいサインを配置することで病院側も効率化をはかることができます。

弊社では利用者や施設両面を、サインのご提案でサポートできる体制が整っております。

京都本社：高桑 祐一





納入レポ！ 「滋賀県立能登川高等学校」



今回ご紹介するのは、滋賀県東近江市に位置する「滋賀県立能登川高等学校」です。改修工事にて、屋内外のサインを納めさせていただきました。

私にとっては営業職に移り、初めてのプランニングとなった思い出深い案件です。屋内サインはアルミ製の規格製品をベースとし屋外は既存のサインに合わせ、一部は既設の物を美装して使用するという内容でした。

実際に現場が進む中で、当初の設計段階のものとは大きく変わったという程ではありませんが、サインの様子が細かく変わっていきました。総合案内板はマグネットで室名が交換できる仕様で、悪戯防止の透明カバーが付く事になりました。案内板のサイズが大きく透明カバーを付けるだけでは板が膨らんでしまい、枠内に収まらないのですが、マグネットが付く特性を活かし、簡易的に取り外しもできて悪戯の防止もできる仕様にする事ができました。

中でも校章の仕様が決まるまでが一番時間と労を費やしたのではないのでしょうか。1000φ程度ある大きな鋳物の校章が既存であり、それを美装して再利用するという話では進んでいたのですが、まさかの中止との知らせが・・・すでに既設の校章を取り外し、美装加工を行っている最中での知らせに驚かされました。最終的にはステンレスをBOX加工した物を三段重ねし、校章の「高」の文字はチタンゴールド仕上げでとても高級感のある仕上がりになりました。サイズは1200φとかなり大きなサイズで三段重ねの仕様なので重量もあり、これ以上大きくなれば取付けることができないという声もあったようです。

その他にも様々な事が御座いましたが、無事に納める事ができた事にホッとしております。余談ですが、私が日頃利用する電車は能登川高校の真横を走るので、日中であればいつも自身が携わった現場を見る事ができるのでとてもうれしく思っております。これからもそう思える場所を増やしていければと思います。 京都本社：高井 慶一



まめ知識 コ～ナー

今回は「パネルソー」



今回はフジタの製造に関する豆知識を紹介します。

といっても役に立つかは分かりませんが……笑

フジタの作業場では毎日、様々な異なる素材を切ったり穴を開けたり、組み立てたり貼り付けたり、という加工をして商品を製造しています。その基本となるのが板を切ることです。主な素材としてアクリル板、アルミ板、アルミ複合板、スチール複合板、塩ビ板などがあります。その際お世話になっているのがパネルソーといって大きな板を切る機械です。フジタの作業場ではこれがなければ仕事になりません。

切るといってもただ切るだけではありません。それぞれの材質に合わせた切り方をします。切る速度、刃の厚み、回転数、などを細かく設定し、素材の固さや厚みなどから適切な状態で切っていきます。

例えばフジタで最もよく切るのがアクリル板3mm。10段階中、速度4、刃の回転数8に設定すると断面が綺麗に切れます。これはあくまでフジタで使っている機械の数値ですが、他に例を挙げると、薄い塩ビ板を切るときは刃を薄いものに交換し、回転数を上げ、速度を落としてゆっくり切ります。すると塩ビ板の断面に欠けがでずに綺麗に切ることができます。スチール複合板を切る際も、専用の刃に換えます。

このようにただ板を切る作業ひとつとっても素材に合わせた切り方が必要になってきます。いつも同じ様にいくとは限りませんが、毎日様々な板を切りながらどのようにすれば正確に美しく、効率よく切ることが出来るかを考えながら作業に取り組んでいます。

簡単な様に見えて意外と難しい板を切る作業。フジタの商品を作る上で非常に重要な工程であることは間違いありません。

京都本社：田中 紀行

今月で紹介するのは、『KA カラーアクリル看板』

今月で紹介するのは、子会社 株式会社ブリッジワンの人気商品『KA カラーアクリル看板』です。
ブリッジワンは自社でECサイトを運営している会社です。現在5つのサイトを運営しており、フジタの「室名札」の販売をはじめ「会社看板・銘板」「黒板・ホワイトボード」「自立看板」などを各サイトで販売しております。今回は、会社看板をメインに販売しているサイトの人気商品をご紹介します。

【カラーアクリル看板】

カラーアクリル看板は、7色のカラーアクリル板・4色の化粧ビスからお好きな組合せで製作できる看板です。より個性的な看板を製作したい方をターゲットにした商品で、会社のイメージに合わせてオリジナルの看板製作が可能です。表示はクリアアクリルの裏からUV印刷をしますので、印刷にキズが付くのを防ぐことができます。フルカラー対応で細かい文字やグラデーションもきれいに印刷することが可能です。

取付方法はビス取付・クッションテープ貼り・マグネット貼り・チェーンタイプと用途に合わせて、4種類の中からお選びいただけます。



※これらの商品は屋内専用となります。
屋外用をご希望の方は、下記の「AIJアクリルシート看板」をお勧めいたします。

【AIJアクリルシート看板】

アクリルシート看板はアルミ複合板にインクジェットシートを巻込むことで、全面フルカラー印刷が可能でグラデーションも表現できます。上にクリアアクリルを重ね、化粧ビスで固定することでデザイン性も高く、屋外使用が可能な看板です。ビス取付と裏面フラット仕様の2種類がお選びいただけます。



これらの商品は日々、お客様よりお問い合わせやご要望をいただいた中から生まれたもので、よりニーズのある看板は何かと考え出来上がったものです。フジタにある部材を使用し、より良い看板を製作するためにフジタの社員にも相談しながら日々試行錯誤して生まれた商品です。今後も選ばれる商品を追加していく予定です。

東京支店：小林 才記子

京都めぐり

フジタの社は京都にあります。
 地元ならではの京都の魅力をご紹介します。
 今回ご紹介させていただくのは「二条城（元離宮二条城）」
 です。



元離宮二条城 公式HP
<http://www2.city.kyoto.lg.jp/bunshi/nijojo/>

1月の京都めぐりは「二条城（元離宮二条城）」をご紹介します。
 二条城は、江戸時代に造営されたお城です。1601年に江戸幕府初代将軍である徳川家康が、京都御所の守護、城軍の宿泊所として築城を開始し、1603年に完成しました。1624年には江戸幕府3代将軍である徳川家光が大規模な改修、増築を行い、1626年に御水尾天皇らが滞在しました。江戸幕府の始まりと終焉の場所とされています。
 二条城は1994年に世界文化遺産「古都京都の文化財」として登録されました。城内全体が国の史跡に指定されている他、二の丸御殿（6棟）は国宝、本丸御殿や城外の門など（22棟）は重要文化財、二の丸御殿庭園が特別名勝に指定されています。
 1年を通してイベントが開催されていて、年末年始は庭園公開がされます。また、3月下旬から4月上旬には城内に咲く200本を超える桜や庭園をライトアップするイベントが行われるようです。
 現在、二条城を次代へ保存、継承していくために本格修理のため“世界遺産・二条城一口城主募金”を募っているとのこと。寄付者へは金額によって、記念品や特典もあるそうなので是非HPをチェックしてみてください。
 私の家の近くにあるお城、ということで「二条城」をご紹介します。実はまだ中には入ることができないのですが、お城の周りをたまにランニングしています。観光の方が多く、夏のイベント時には毎晩行列している人気スポットです。今年は私も是非入ってみようと思います。

京都本社：光宗 彩

フジタスタッフの広場

製造：竹谷 泰雄 入社15年目 京都本社勤務



こんにちは製造業務を担当している竹谷泰雄と申します。
 小さな室名札には細かい手作業が多いのですが、元々物造りが好きで商品を完成させた時の達成感はこの仕事のやりがいです。
 フジタの商品で好きな商品はFTRPプレートという、アルミ製で室名の表示と共に、簡単に紙を脱着することができる機能を兼ね備えた室名札です。
 製造業務ではmm単位での微妙な調節で上手く機能しないことがあるので、毎回ひとつひとつの作業を丁寧にしています。
 弊社の商品は信頼できる商品です。これからも宜しくお願いいたします。



カタログご請求・会社見学も随時受付しております。

詳しくはHPまで <http://www.fujitanet.co.jp>

新総合カタログVol15 配布中!

2016年9月発行

本会社見学開始 受付中!



ECOへの取組み

フジタ京都本社にはソーラーパネルがあります!



3.11東日本大震災を契機に弊社でも、「限りある資源」を考え京都本社ビルに、ソーラーパネルを設置し、社内照明をLEDに変えました。オフィス内に電気使用量の測定器を取付けし、社員ひとりひとりのECOへの意識が高まっています。

お問い合わせ 株式会社 **フジタ** ご連絡を頂きましたら、担当者が迅速に対応いたします!

京都本社
 担当：高桑

Tel. 075-592-7550 Fax.075-592-7524
 E-mail:info@fujitanet.co.jp

〒607-8147 京都市山科区東野森野町 46-4

東京支店
 担当：鳥羽

Tel.03-3556-6540 Fax.03-3556-6931
 E-mail:tokyo@fujitanet.co.jp

〒102-0092 東京都千代田区隼町 2-13 プライムビル 6F